

【児童発達支援】保護者アンケート集計結果（2025年度）

	チェック項目	解答欄			ご意見
		○	?	×	
制 整 備 環 境 体	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	1			
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	1			
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	1			
適 切 な 支 援 の 提 供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	1			
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	1			
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか（インクルージブ）		1		
保 護 者 へ の 説 明 等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	1			
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	1			
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1			
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		1		
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	1			
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	1			
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	1			
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	1			
非 常 時 等 の 対 応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	1			
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1			
満 足 度	子どもは通所を楽しみにしているか	1			
	事業所の支援に満足しているか	1			

2026.6.22

マナの家 児童発達支援管理責任者
田中哲、角田茜

【児童発達支援】アンケート結果の考察と評価・対応（2025年度）

アンケートは契約児童家族4に配布し1家族から回収を受けました。今年度も有意の回答数とは言えませんが抽出された課題には真摯に対応してまいります。アンケート結果は上記のとおりとなっていて一名の方がどちらとも言えないとされた項目が⑥の放課後児童クラブなどのインクルーシブな活動機会の有無と、⑩の保護者会に関する項目、それ以外の項目はすべて高評価となっているので⑥⑩について考察対応を以下に記載しています。

- ⑥ 2025年度は近隣のこども園との交流活動に企画を目標に定めたが結果的には難しかった。原因は児童発達支援に通う実年齢3歳から6歳の子どもたちは他者との関係性や生理的な生活リズムを獲得していなかったり人見知り場所見知りも多く、子ども園などと機関連携して行うインクルーシブ保育は児童発達支援に通う子どもたちにも負担が大きいように思われる。その代わり毎年方針を持って企画しているインクルーシブな活動に参加することで学童保育や地域の高校生たちとの交流を持つことができました。（放課後デイ：「夏休みダンス Festa」「節分」「年忘れ餅つき大会」）
- ⑩ この設問は現状の障害福祉サービスの制度の在り方にはなじまないと考えています。市場化された中で顧客に相当する利用契約者を事業所が組織するのは利益相反にもなり本末転倒で、中立な立場にある相談支援や自立支援協議会に「当事者部会」「家族会」を設けて検討してゆくべきと考えています。自立支援協議会や基幹相談支援センターなどに働きかけてゆくと同時に保護者にも説明してゆきたいと思っています。昨年同様山武地域親の会にそうした制度上の地域課題（具体的には当事者部会の育成）について取り上げていただけるよう継続してお願いしたところです（以上放課後等デイサービスと同じ）。

結語

当事業所で最も保護者への説明で力を注いでいるところは発達保障に基づく障害児保育の重要性です。社会福祉の基礎構造改革以来、子どもたちの外形的な問題行動のみに着目して短期的に効果を上げてゆくことのできる支援だけが専門性のある支援と呼ばれがちで、昨今の障害児支援の風潮の中で、私どもの意図するような支援内容の説明を理解するのは簡単ではありません。しかしここには子どもたちが国際条約上の概念に裏打ちされた自立に至ってゆくための極めて重要な自我形成のプロセスがあります。マナの家ではこれを今年も訴え、実践し、保護者家族の方々の理解を得てゆきたいと考えています。

2026.6.22 マナの家施設長：田中哲

児童発達支援】自己評価表(2025年度)

		チェック項目	○	?	×	意見
整備	環境体制	1 支援に必要なスペースが確保できていると思うか	<input type="radio"/>			
		2 支援職員は適切に配置できていると思うか	<input type="radio"/>			
		3 障害特性に沿った環境は適切に整えられているか	<input type="radio"/>			
		4 支援に必要な環境が適宜整えられているか	<input type="radio"/>			
業務改善	業務改善	5 PDCA が業務改善に生かされているか	<input type="radio"/>			
		6 保護者の意見を適宜業務改善に生かしているか		<input type="radio"/>		
		7 第三者により外部評価を行っているか		<input type="radio"/>		
		8 職員の資質向上のための研修を行っているか	<input type="radio"/>			
供	適切な支援の提	9 支援プログラムが作成公表されているか	<input type="radio"/>			
		10 子どもの発達課題に即した支援を行っているか	<input type="radio"/>			
		11 個別支援計画が子どもの最善の利益を確保するものとなるよう多角的検討を行っているか	<input type="radio"/>			
		12 個別支援計画に則って支援が提供されているか	<input type="radio"/>			
		13 子どもの適応行動のもととなる内面の発達状況を確認しているか	<input type="radio"/>			
		14 支援前ミーティングをおこなっているか	<input type="radio"/>			
		15 支援後の振り返りを行っているか	<input type="radio"/>			
		16 必要な記録を整備しているか	<input type="radio"/>			
関係機関・保護者との連携	関係機関・保護者との連携	17 有意義な多機関連携が必要に応じて行われているか	<input type="radio"/>			
		18 インクルーシブな環境での支援を提供しているか	<input type="radio"/>			
		19 入園や就学時に子どもの情報を共有できているか	<input type="radio"/>			
		20 地域の発達支援の質の向上に資する活動に参加しているか	<input type="radio"/>			
		21 支援の質の向上のための研修の機会を適宜設けているか	<input type="radio"/>			
		22 未就学児童の発達支援に対して自立支援協議会は機能していると思うか			<input type="radio"/>	県レベルの課題で機能していません。
		23 適宜多機関からスーパーバイズを受けているか	<input type="radio"/>			
		24 子どもの発達について保護者との間で共通の理解ができているか		<input type="radio"/>		
		25 家族の子育て研修の機会を設けているか		<input type="radio"/>		保護者研修の企画実施に当たるための組織作りに着手しました。
保護者への説明	保護者への説明	26 利用に際して必要な書類の説明を丁寧に行っているか	<input type="radio"/>			
		27 子どもの最善の利益に即した個別支援計画を立てているか	<input type="radio"/>			
		28 個別支援計画の内容を保護者に説明し同意を得ているか	<input type="radio"/>			
		29 家族からの子育て相談に応じているか	<input type="radio"/>			
		30 保護者会を設けているか			<input type="radio"/>	利益相反になるので設けない方向。
		31 施設内の支援や活動を保護者、地域に発信しているか	<input type="radio"/>			
		32 個人情報の取り扱いは適切か	<input type="radio"/>			
		33 障害を持つ子どもや保護者へのコミュニケーション上適宜配慮を行っているか	<input type="radio"/>			
非常時等の対応	非常時等の対応	34 地域に開かれた事業運営を行っているか	<input type="radio"/>			
		35 事故防止、緊急対応、防犯、感染対策、災害、BCP をマニュアル作成して定期的な訓練研修を行っているか	<input type="radio"/>			
		36 必要な服薬、食事、栄養管理や医療ケアを行っているか	<input type="radio"/>			
		37 ヒヤリハットなどを通して安全管理を徹底しているか	<input type="radio"/>			
		38 虐待防止研修を行っているか	<input type="radio"/>			
		39 身体拘束ゼロに向けた取り組みと必要な場合の管理を両立しているか	<input type="radio"/>			